

『日本封じ込めと松本薫選手とものけ姫』の関係

みなさんこんにちは。もうすっかり秋ですね。食欲の秋、スポーツの秋。

自分は今はサッカーばかりを自認しておりますが、子供のころは柔道一直線ばかりで、

毎日枕を使って二段投げの練習をしたり、

布団を体に巻きつけて地獄車の練習に明け暮れていました。

(笑)(わからない人ゴメンナサイ！)

その甲斐あってか中学の時に県大会の個人戦で優勝したこともあります。あのころの柔道はまさに『日本柔道』でした。

先日のオリンピックでみた『JUDO』とは全く違うものでした。何が1番違うかというよりは今は柔道着の乱れを直さないところです。『柔道』では通常、胴着が乱れていると審判が『待て！』と叫んできちんと柔道着を整えてから再び試合再開となります。少なくとも自分はそう指導されてきましたし、それが礼儀だと思えますし、それが武道であり、柔道の魂であると思います。そこが汚されているような気がして本当に残念でしよがなかつたです。ご飯をお箸で食べるのを禁止されて、パンとおかずを先割れスプーンで食べるような『強制された退化』を感じました。

思うに日本柔道の勢いが止まってしまった原因は日本経済の勢いが止まってきている原因とリンクしているような気がしてなりません。

大きく分けると3つ。『一般化』『標準化』『退化』です。

1つ目は『一般化』とはコモディティー(汎用品化)とも呼ばれ、ソニー、シャープなどがテレビ産業の分野で技術の優位性を確保できず、低価格で同等品を作られてしまうことで敗れ去っていったように、柔道ももはや決して日本のお家芸ではなくなってしまうということです。その証拠に日本の柔道人口20万人に対してフランスの柔道人口50万人といわれています。柔道は完全に国際化され世界中で試合が行われています。そしてこの『一般化』の流れの中でブラジリアン柔術や蒙古相撲やレスリングやサンボなどの要素も混ざりこんで変則化、総合格闘技化してきてしまいました。日本のテレビ産業と同様に柔道もこの流れを読み切れず対応しきれないのが現状だと思います。

2つ目は『標準化』です。これはかつてはビデオやDVDが、現在では自動車産業が苦戦している原因になっています。日本の自動車メーカーが『いいものをつくれれば必ず売れる』と信じてどんなにいい電気自動車を開発したとしても、最後の充電コネクターの規格の標準化競争で敗れてしまえば、その最高に素晴らしい車もそんなに市場で売れないのと同じで、日本の選手の技が見事に決まったとしても最後の受け身のところで脳震とうの危険を冒してわざとしりもちをついたり、骨折覚悟で肘を出して体を支えたりして投げられた態勢を崩し、審判の印象を薄めて一本に見えないようにする受け身を世界標準にしているんです。

日本人は柔道を習う時は必ず受け身から習います。

怪我なくきれいに投げられることできれいに投げる技を体で覚えていきます。

技と受け身はセットになっているんです。きれいに投げる人はもし試合できれいに投げられたとしたら、

必ずきれいに受け身をします。その無意識の信念のようところが逆に弱みになってしまい世界標準の変則受け身をしないがために、勝負に勝って試合に負けている選手が多くいます。

3つ目は『退化』です。先ほども少し述べましたが、柔道着の乱れを直さないのは柔道の自己否定となっていると思います。でも礼に始まり礼に終わる柔道はもはや『柔道』ではなく『国際競技JUDO』なのだからいちいち細かいことは言ってほしくない！と国際柔道連盟に言われて言い返せず困惑している絵が浮かんできます。

勤労意欲に燃えて仕事をしていた日本人に、『エコノミックアニマル』というラベルを張ることで日本人の勤労意欲は見事に減退し、他者を喜ばず発想と技術向上を喜びにしていた日本人に、『ガラパゴス』というラベルを張ることで発想と技術向上意欲が失われてきました。そして武道においてなにより礼儀を重んじる日本人に、胴着を直さない『JUDO』というラベルを許容させることで魂を込められないよそ行きのポイント稼ぎの柔道に退化させられていると思います。

他国からこの『一般化』『標準化』『退化』の3つの鎖でぐるぐる巻きにされ、柔道選手も日本経済も身動きが取れなくなっているような気がします。

ロンドンオリンピック日本柔道界唯一の金メダリスト松本薫選手にお茶の間が魅了されたのは、単に試合に勝って金メダルを獲得したからではなく、モヤモヤとした日常の重苦しい鎖を引きちぎるほどの野性をその眼光に感じたからだだと思います。

昔からずっとあって守らなければならない大切なものと、世界とつながっていく中で徐々に失っていつてしまうものと、最後の最後までその大切なものを守護している者の物語というものは分野を超えて日本人の心の原風景に響く物語なんだろうなあと思います。 そんな皆さん本日も御安全に!!

感謝！ 羽原篤史 

